

2010年6月10日

各 位

ティーエルロジコム株式会社

全日本物流改善事例大会 2010 土浦支店が“物流合理化賞”を受賞！

—お客様、お取引先と一体となった改善活動が成果につながる—

当社は、今年4月に東京で開催された「全日本物流改善事例大会 2010」において、土浦支店が発表した改善事例「出荷物量のジャストインタイム化による保管在庫物量の抑制」が、特に優れているとして“物流合理化賞”を受賞したことをお知らせいたします。

受賞した事例は、土浦支店のお客様である大手スーパーのカスミ様ドライ品物流センターにおける在庫物量の適正化に挑戦したものです。近年出荷物量が増え、在庫スペースが確保出来ない飽和状態が続いていました。その真因を追究したところ、過剰在庫のメカニズムが明らかになり、従来の発注方法を変える必要が明確となりました。そこで、最も物量の多いお取引先の飲料メーカー様にジャストインタイム入庫のメリットを明示しながら協力体制を構築。連携して改善を進め、保管在庫物量の削減と波動の少ない在庫の適正化に成功、加えて作業時間の大幅短縮にも成果をあげたものです。

従来の発想では、発注方法を変えることやお取引先に改善を働きかけることは自分達の活動範囲を超えるものとしていました。しかし、そこに踏み込まなければ過剰在庫、作業効率低下、残業増加などの諸問題の解決につながりません。お客様であるカスミ様にご支援をいただきながらお取引先とともに改善に取り組めたことが、今回の成果につながったものと考えております。

6月8日、東京大手町経団連会館にて開催された財団法人日本ロジスティクスシステム協会の通常総会にて発表者の大槻直紀が土浦支店改善チーム、お客様、お取引先を代表して三村会長より同賞の表彰を受けました。

当社は、これに満足することなく、今後も他社の好事例を学び、地道に改善活動を積み重ねローコストで高品質なサービスをお客様にご提供してまいります。



社団法人日本ロジスティクスシステム協会三村明夫会長より表彰状を授与される土浦支店大槻直紀主任
(於:経団連会館)

※「社団法人日本ロジスティクスシステム協会」、「全日本物流改善事例大会」、「物流合理化賞」の概要につきましては、同協会のホームページ <http://www.logistics.or.jp/> をご覧下さい。

以 上

■ご参考

<ティーエルロジコム株式会社概要>

本 社：〒130-0012 東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー11F

代 表 者：代表取締役 鎌田 正彦

設 立：1940年（昭和15年）

親 会 社：SBSホールディングス株式会社

資 本 金：28億46百万円 （2009年12月末現在）

売 上 高：358億円 （2009年12月末現在）

従業員数：1,357名 （2009年12月末現在）

事 業 所：関東を中心に東北、上海（中国）などに約70拠点を設置

関係会社：ティーエルトランスポートなど6社の子会社を展開

事業内容：70年以上にわたる物流の豊富な経験とノウハウを持つ東急ロジスティックが2006年1月にティーエルロジコムへ社名変更し、SBSグループの総合物流事業のコア会社として、3PL・センター物流・倉庫・流通加工・運輸・通運・国際物流・館内物流・施設移転・オフィス移転・引越などお客様のあらゆる物流ニーズを一貫したサービス体制でサポートしています。

U R L：<http://www.tl-logicom.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

ティーエルロジコム株式会社

総務部 TEL:03-3829-2340

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

以上